
ネメシスとして幻想入り

xhanku

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネメシスとして幻想入り

【Nコード】

N5420Z

【作者名】

x h a n k u

【あらすじ】

目が覚めれば知らない森の中・・・

え？どこここ？何この体、触手とか気持ち悪いッ！え？これが自分？！

嫌だあああああああ！！！！！！！！！！

不定期更新です。あと、作り直しましたー^^;

ぶろろーぐ（前書き）

作り直しましたー^^；

この回だけちょっと変ですが、次からは直します。

「ガチッ！」

ん？金属音？

なんで立ち上がったときに金属音？

足元には草とか土とかしか無いは・・・ず・・・

うん、無いよね？足元に危険な鉄の砲筒とか一沢山の筒が着いた回
転する鉄砲《M202ミニガン》なんて、存在してないよね？！
ステインガーマissail

あれか？もしかしてあれなのか？！『転生しちゃいましたー、升選
ばせると面倒なので、テキストにやつちやいました』ってやつな
のか？！
チート

・・・とりあえず、拾っておこう。

「ステインガーマissailを拾った。」

・・・どうしよう、頭が付いていかない・・・Help Me
E E E R I N N N N ! ! !

あ、ついノリで友達の真似しちゃった

じゃねえ！そうじゃねえ！有名なホラーゲーのバ。オのアイテム拾ったときのテロップみたいなのが流れたけど？！

ってことは、探せばあの有名な回復アイテムもあるってことか？

とりあえず、探してみよう

「ハーブを拾いますか？」

> はい いいえ

あった・・・しかも今度は選択肢付きで・・・

とりあえず、『はい』を選ぶだろ。

「ハーブを拾いました。」

うお！なんだか面白くなってきたぞ！だけど、これどうやって使うんだ？

あ、なんか目つぶったら、やっぱりあの有名なバイ。のメニューが開いた。

・・・言いたいことは山ほどあるけど、とりあえず頭の鎮静用に、ハーブを

「ここでは使えません」

え？何これ？ハーブって回復アイテムでしょ？あ！そっか！調合すればいいのか！なら他にも探さなきゃだな！

ハハハ！俺ってばてーんさーい！

じゃあ、もう一つの鉄砲を取って「M202ミニガン」を拾いました
「さっそく薬草探しだ！

・・・よし、とりあえず現実逃避はこのくらいでいいだろう。

何？このロングコートと巨体は。

しかも堅くて屈強だし。

あと何気に腕に触手が入ってるんだけど。気持ち悪い！

ん？この触手って、尖ってないか？

ロングコート＋巨体＝巨人

巨人＋触手＝この組み合わせはどう考えても『^B_Ö^W生物兵器』

B・O・W＋ロケラン＋ガトリング・・・追跡者？

絶対そうだ！そうに決まってる！じゃなきゃこんな物やこんな体をしているワケがない！

よし！それで確定！この話はもう終わり！じゃあ目的を戻してハープ探しだ！

では！出発d「わはー！おいしそうなのがいたのだー！」・・・誰？！

え？何もいなくね？じゃあ誰の声？

「ここなのだー！」うーん、頭をひねっても答えは出ないなあー
「無視するなー！」だって、ここには俺と空飛ぶ少女しかいないんだもん

「うっ、食べてやるのだー！」

「何を食べるの？」

「あーやつと返事してくれた！じゃあ早速、いただきまーす！」

え？ちょー！なんでこっち来て・・・痛ッ！腕を噛むんじゃない！痛いってば！イタタ！

ぶろろーぐ（後書き）

相変わらずの駄文カァー

ご指摘、クレーム、感想、アドバイス、その他もろもろ何かありましたらよろしくお願いいたします；；

毎月7日は「そーなのか」(前書き)

サブタイはいつも適当です。

あと

「D E N G E R!この小説は、駄文という物が含まれています。T
ウィルス以上の危険です。」

毎月7日は「そーなのかー」

腕を噛まれて数票後

S i d e N E M S I S

「うえゝ・・・不味いのだゝ」

目の前に頂垂れる少女を見ながら心中で『ザマァーWWW』と思う

ている。

だが、流石に可哀想に思えたので、何か探してみることにした。

「ハンバーガーを拾いますか？」

> はい　いいえ

現実から目をそらし、そのハンバーガーを拾い、項垂れる少女に渡した。

「これなら食えるだろ、食べてみろ・・・奪い取るなよ」

「おいしいのだー！」

「そうか、それならいいんだ」

ちよつとカッコつけて喋ってみる。

「そつえば、鬼さんはなんて名前なのだー？」

「ん？鬼？」

聞き捨てならないセリフ

「うん！だつて、人間の顔じゃないもん！・・・ちょっと怖い顔だから鬼なのだー！」

少女のことをよく見てみると、赤い瞳で、金髪にリボン、服装は黒が主体

全体的に西洋風の美少女。

そんな美少女に満面の笑みで「怖い顔」と言われる。

「ああ、組長さん・・・いや、園長先生・・・あなたの気持ちが分かった気がする・・・」

どっかの幼稚園の組長の気持ちを理解してしまった。

「ねえねえ、名前はなんなのだー？」

「え？あー」

迷う、激しく迷う・・・できるだけカッコイイ名前で行きたいところだが、流石にこの容姿では無意味

ここは、本家を借りて、本当のことを言おう・・・

「俺は、ネメシちゅ・・・」

少女との間に、気まずい沈黙が流れる。

(やべえ、噛んだ・・・どうしよう!)

「・・・ネメシスさんなのかー、じゃあまたなのだー」

少女が気まずい沈黙を破り、訂正してくれた。

そして、食べ物が無くなったことが分かり、その場を去っていった。

少女は、去り際に、頬をニヤつかせていた。

「第一印象は大事なのに、それを思いつきりダメにしてしまったなあー・・・」

なんとも言えない気持ちが、胸の奥でとぐろを巻いている。

そんな気持ちを忘れるため、またハーブ探しに戻った。

その後、赤色と黄色のハーブが見つかった。

最初に手に入れた緑色のハーブと調合し、薬を作った後、その辺をテキトーに散策することにした。

毎月7日は「そーなのかー」（後書き）

・・・まずい、前作とのデジャヴな部分が・・・

やべえな・・・これなら削除する前の方がよかったかもしれない

今になって後悔

クレーム、ご指摘、感想等々　お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5420z/>

ネメシスとして幻想入り

2011年12月18日09時02分発行